

(3) 年 教科【 技術科 】

| | | |
|---------------|--|---|
| 使用教科書 | 技術・家庭 技術分野 TECHNOLOGY 開隆堂 | |
| 学習の目標 ・ねらい | ・教材、教具を効果的に活用し、実験的・体験的な活動を多く取り入れ、問題解決や改善を図る能力を育成する。 | |
| 年間の 授業内容 | 前 期 | 4月 情報とわたしたちの生活 5月 情報通信ネットワークの利用 6月 情報通信ネットワークと情報セキュリティ 7月 情報モラルと知的財産 9月 コンピュータと情報処理 |
| | 後 期 | 10月 デジタル作品の設計と制作 11月 プログラムによる計測・制御 12月 情報に関する技術の評価・活用 1月 プログラミング (マイクロビット) 2月 プログラミング (マイクロビット) |
| 特色ある 学習など | <ul style="list-style-type: none"> ・作業の精度と安全の確保のため、グループで責任を持って実習を行っていく。 ・教育のデジタル化に対応できるようクロームブックを活用し、作業の確認や、振り返り、課題の整理を随時行っていく。 | |
| 評価の観点 | <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能…生活や社会で利用されている技術の理解と習得ができています ・思考・判断・表現…生物育成やプログラミングへの工夫や作成中の課題を見出し、解決する力を身に付けている ・主体的に学習に取り組む態度…学習課題や、実習に意欲的に取り組むことができる | |
| 評価の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能…定期テスト、授業課題の点検評価で評価する。 ・思考・判断・表現…生物育成での課題解決や、PCで作成する授業レポートの工夫、プログラミングでの課題解決の手立てや作業の工夫を通して評価する。 ・主体的に学習に取り組む態度…課題の解決や実習に主体的に取り組んでいるかを総合的に評価する | |
| 注意事項 | ・道具や工具、機械を使うため安全面に十分注意する。 | |